

**INFO** 新型コロナウイルス感染症で影響を受けた香川県の事業者の皆さまへ **～事業継続を応援します～**  
 まずは、総合的な相談窓口をご利用ください。

**相談** 新型コロナウイルス関連経営相談窓口(公財)かがわ産業支援財団内  
 ☎087-840-0391

**給付・助成** 持続化給付金(国)  
 持続化給付金コールセンター ☎0120-115-570

**香川県持続化応援給付金**  
 香川県持続化応援給付金コールセンター ☎087-832-3881

**雇用調整助成金(国)**  
 一時休業などにより、労働者の雇用維持を図った場合、休業手当などを助成する雇用調整助成金の申請ができます。  
 雇用調整助成金コールセンター ☎0120-60-3999  
 香川労働局助成金センター ☎087-811-8929

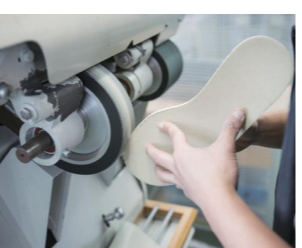
**香川県緊急雇用維持助成金**  
 一時休業により、雇用調整助成金の支給決定を受けた事業主に対して、県独自の助成を行います。  
 労働政策課 ☎087-832-3366

**融資** 香川県中小企業振興融資

- 香川県新型コロナウイルス感染症対応資金  
 ・融資枠:4,000万円・3年間無利子、全期間保証料ゼロ
- 危機関連融資  
 ・融資枠:2億8,000万円・借入れ8,000万円までの保証料は県が全額負担

融資の申し込み・相談 県内の各金融機関まで  
 制度の問い合わせ 県中小企業対策相談窓口 ☎087-832-3347

**日本政策金融公庫の融資**  
 業況が悪化した事業者を対象とした「新型コロナウイルス感染症特別貸付」があります。  
 日本政策金融公庫・事業資金相談ダイヤル ☎0120-154-505



西尾聖子社長

歩けるようになったうれしい例も。同行はユーザーの心を大切にしています。「施設を訪ねてくる人が少なくなつて、さみしい思いをしている方も多し。販売する靴には、社員の手書きメッセージを必ず添えます」と西尾さん。「こんな靴は初めて!」「手紙に励まされた」など3万通に上る手紙が届いており、そうした交流で寄せられた声をヒントに商品を改良したり新商品を開発することも少なくありません。歩行できなかった女性が「あゆみシューズを履きたい」と一念発起し、ついに歩けるようになったうれしい例も。

**若い世代にもPRしたい**  
 「元気に歩けるうちから正しい靴を選び正しい履き方でケアしておけば、深刻な悩みを抱えるリスクも少なくなり、介護予防につながるはず。介護用品のイメージを超えた『機能商品』として、より多くの皆さまの足をサポートしたい」と西尾さん。新しいブランドイメージの確立に注力した結果、高齢化が進んでいた縫製スタッフにも、新卒や30代の若手社員が増えてきました。

「元気に歩けるうちから正しい靴を選び正しい履き方でケアしておけば、深刻な悩みを抱えるリスクも少なくなり、介護予防につながるはず。介護用品のイメージを超えた『機能商品』として、より多くの皆さまの足をサポートしたい」と西尾さん。新しいブランドイメージの確立に注力した結果、高齢化が進んでいた縫製スタッフにも、新卒や30代の若手社員が増えてきました。

一般的に靴のデザインは1シーズンで入れ替わるものですが、同社の場合は「2足目も同じものを」という声が多いことから、3〜10年スパンで商品を販売しています。現在、施設用シューズを中心とする「あゆみ」、特定の症状を持つ人たちに合わせてデザインした「あゆみメディカル」に加えて、症状がないアクティブシニア向けの「aimyuu」を立ち上げ、3ブランド約80アイテムを展開中。あらゆるシーンでユーザーの健康と安全を支えています。

「元気に歩けるうちから正しい靴を選び正しい履き方でケアしておけば、深刻な悩みを抱えるリスクも少なくなり、介護予防につながるはず。介護用品のイメージを超えた『機能商品』として、より多くの皆さまの足をサポートしたい」と西尾さん。新しいブランドイメージの確立に注力した結果、高齢化が進んでいた縫製スタッフにも、新卒や30代の若手社員が増えてきました。

本社併設の直営ショップは、広々として明るい雰囲気。「全シリーズ試着できますから、気軽に遊びに来てくださ」と、西尾さんは気さくに語ってくれました。

問い合わせ先  
 (公財)かがわ産業支援財団 取引支援課  
 ☎087-868-9904

「元気に歩けるうちから正しい靴を選び正しい履き方でケアしておけば、深刻な悩みを抱えるリスクも少なくなり、介護予防につながるはず。介護用品のイメージを超えた『機能商品』として、より多くの皆さまの足をサポートしたい」と西尾さん。新しいブランドイメージの確立に注力した結果、高齢化が進んでいた縫製スタッフにも、新卒や30代の若手社員が増えてきました。

「元気に歩けるうちから正しい靴を選び正しい履き方でケアしておけば、深刻な悩みを抱えるリスクも少なくなり、介護予防につながるはず。介護用品のイメージを超えた『機能商品』として、より多くの皆さまの足をサポートしたい」と西尾さん。新しいブランドイメージの確立に注力した結果、高齢化が進んでいた縫製スタッフにも、新卒や30代の若手社員が増えてきました。

常識破りの「片方」販売  
 徳武産業のスピリットは「世にないものを生む」こと。創業者の代から「今後は暮らしが洋風になり、人々は海外に出ていくだろう」と見越し、いち早くルームシューズの製造を開始。旅行会社と共同で旅行用スリッパを開発するといった新しいものづくりを追求してきました。

OEM(他社ブランド製品の製造)ニーズに応えつつ「メーカーになりた」という思いを募らせていた時、施設内での転倒が減らないことに悩む地元福祉施設から「高齢者のための靴を作ってくれないか」と相談を受けました。「転倒事故の大きな原因は、履

物だったんです」と、代表取締役社長の西尾聖子さん。ルームシューズのノウハウはありますが、靴づくりは初めてのこと。2年かけて500人のモニターに協力してもらい、開発したのが「あゆみ」シューズでした。

人によっては、左右の足の大きさが違い、片方にはぴったりでももう片方はサイズが合わないことも…。「そこで、片方ずつ売ることになりました。当時約3000社の靴メーカーが一切やっていなかったことです。靴づくりの先輩たちの反対を押し切ってスタートしました。」

発売25周年を迎えた現在、1日約7000足の注文があり、400足程度は片方のみ・左右サイズ別の注文

**介護商品から機能商品へ**  
**足と心を支える理想の1足**

挑戦する **かがわ** 28  
**ものづくり企業**

試し履きしてみると、驚くほど足を優しく包み込む絶妙なフィット感。ルームシューズから始まり長年育んだノウハウが、ギュッと詰まった一足です。足から暮らしと健康を考える、香川のものづくり企業を紹介します。

**徳武産業株式会社**  
 (住所) さぬき市大川町富田西3007  
 (創業) 1957年  
 ☎0879-43-2167  
<https://www.tokutake.co.jp/>

